



TKK 共通シラバス

1. 科目名	環境政策ビジネス研究				
2. 教員名	古武家 善成		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	2年以上	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の内容（基本的枠組）（東）

地域環境問題と地球環境問題が同時に進行する 21 世紀では、環境問題は複雑多岐にわたり、計画的で体系化した環境政策が求められている。また、環境問題のマネジメントにおいて、自律的解決を促す経済的手法は規制的手法を補う有効な手段となっている。

本授業では、環境問題の解決を組織的に行うための基礎となる環境政策と、環境政策の展開にも深くかかわる環境経済学・環境ビジネスについて、総論、事例研究の両面からその全体像に迫る。また、ミニ実習として環境問題解決のための施策の企画立案を体験する。環境関連のニュースの解説、環境ディベート、ビデオ鑑賞を行い、環境問題に関する理解を深める。

本授業は環境分野に焦点を当てるが、ここで学ぶ行政施策の企画立案・検討・実行の手法や、規制的手法とは異なるソフトな経済的手法は汎用性の高い問題解決法であり、様々な分野で応用することができる。

8. 授業のキーワード（神）

環境政策，合意形成，廃棄物，景観政策，環境ビジネス，循環型社会，低炭素社会，再生可能エネルギー，環境政策企画，環境ニュース，環境ディベート

9. 授業の進め方（神） 授業の方法（東）

- ・ 授業はパワーポイントスライド，資料プリント，板書によって進める。
- ・ 履修生は新聞等で流れる日々の環境関連ニュースのうち重要と思う 1 つについて，そのヘッドラインを書きとめる。指名された履修生は授業中に内容を発表する。
- ・ 前回の復習のために授業中に質問する。その答えにより加点・減点を行う。
- ・ 環境問題に関するディベートを実施し，履修生の意見発表力を高める。

10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）

参考書

原科幸彦 編「環境計画・政策研究の展開」（岩波書店：2007）

栗山浩一，馬奈木俊介「環境経済学をつかむ 第2版」（有斐閣：2012）

11. 授業時間外に必要な学習（神） 事前、事後に受講してほしい講義等（東）

毎日環境関連のニュース（新聞，Web 等）に目を通す（20～30 分程度）。

12. 提出課題など（神）

環境政策企画案（課題レポート）の提出

企画案については授業（第 13，14 回）の中で発表をし，問題点の指摘を受けて修正することができる。

環境ニュースまとめ・ビデオ感想文等の提出

13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法（東）

課題レポート（環境政策企画案）で評価する。レポートは、ミニ実習（第13, 14回）で作成する環境政策案を修正し完成させたものを提出する。また、復習の評価を毎授業中に行う。復習質問への対応により加点・減点を行う。

- ・ レポート評価：80%，各種提出物の提出・復習質問への対応：20%
- ・ 10回以上の出席および振返りテスト（資料持込可）が60点以上でないと、課題レポート提出を認めない。

14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）

授業の内容や環境問題に関する質問，環境関連分野への進路相談など大歓迎です。気軽に話しに来てください。

15. 参考（オフィスアワー（工）等）

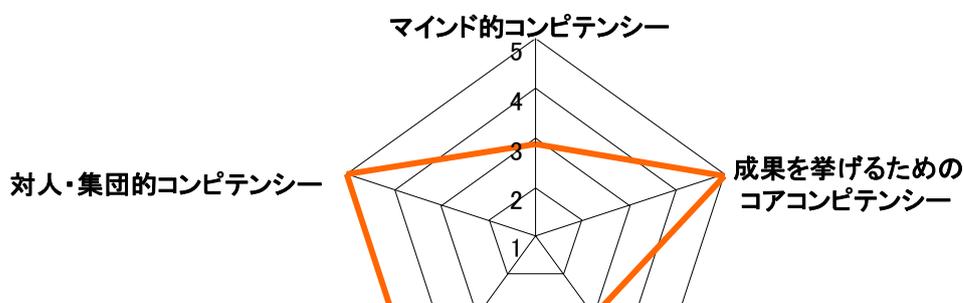
メールでの質問を受け付けます。dfmfn512@kcc.zaq.ne.jp（古武家）

授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンスと序論	授業概要，日本の環境問題と健康被害の歴史
第2回	現代の環境問題	地域・地球環境の今日的課題，原発問題および原発政策の今後
第3回	環境政策総論	環境政策の歴史，政策手段，合意形成，環境アセスメント
第4回	廃棄物・災害廃棄物問題	廃棄物の種類，排出量の推移，災害廃棄物の現状，アスベスト問題
第5回	景観政策	景観法体系，景観の評価，神戸市・京都市等の景観政策
第6回	環境ビジネス総論	環境ビジネスの展望，環境ビジネスの分類，企業の対応
第7回	循環型社会と環境経済学	循環型社会の概念，基礎としての環境経済学，事例研究
第8回	環境ディベート1	環境問題に関するディベート
第9回	環境ディベート2	環境問題に関するディベート，肯定側・否定側交代
第10回	環境ビデオ鑑賞	環境政策・環境ビジネスを扱ったビデオ鑑賞
第11回	低炭素社会実現への経済的手法	地球温暖化問題，温室効果ガス削減の経済的手法
第12回	再生可能エネルギービジネス	再生可能エネルギーの事例と特徴，スマートグリッド，アジアの環境ビジネス
第13回	実習1：環境政策企画	行政担当者の立場になり，環境問題解決のための政策を企画立案する。
第14回	実習2：環境政策発表	企画した政策案を発表し討論する。
第15回	環境政策・ビジネスの展望	全単元（回）の振り返りテスト

【コンピテンシー】※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

（下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。期待度が高いほうが5、低いほうが1です。）



コメント
授業内容の習得や実習での環境施策案の作成を通して、「成果を挙げるためのコアコンピテンシー」、「応用的コンピテンシー」が、環境ディベートを通して「対人・集团的コンピテンシー」が向上する。